

西国巡礼慈悲の道

西国第二番 紀三井山

金剛宝寺護国院

観音様はあなたのそばに

貫主 前田孝道

観音経には、こう説かれています。

「観世音菩薩はどのようなにこの世界をめぐり、どのようにして人々の為に法をお説き下さるのでしようか」と尋ねられた仏様は、こう答えられました。

「多くの人々の中で、仏の姿で導くべき人には仏の姿で、お坊様の姿で導くべき人にはお坊様の姿で、子どもの姿で導くべき人には子どもの姿で導くのです」

と。

観音様は、相手にふさわしい姿に身を変えて、お導き下さる、というのです。

観音経には、観音様が化身される三十三の姿が説かれています。

この三十三という数にちなんで、西国三十三所をはじめ全国各地に三十三カ所の観音霊場が開かれているわけです。

ですから、三十三という数は観音様とご縁の深い大

事な数ですが、この数には「無数の」という意味が込められており、五十にも百にも、いや、ありとあらゆるものにお姿を変えて、観音様は私たちをお救い下さるのです。

ある時は看護師さんの姿で、ある時はパン屋さんの姿で、またある時はスポーツ選手の姿で…と、あげればキリがありません。

言い換えますと、観音様のお姿は、これまで色々な仏像、仏画に表されて参りましたが、こうしてお祀りされているお姿だけが観音様だという訳ではなく、私たちのすぐそばにいらっしやるのかもしれない、という事なのです。



西国第二番

紀三井山

こんごうほうじごこくいん
金剛宝寺護国院(紀三井寺)

救世観音宗総本山

御本尊／十一面観世音菩薩 開基／為光上人

ふるさとを はるばるここにきみいでら

はなのみやこも ちかくなるらん

観音風光

紀三井寺は紀州徳川五十五万五千石の城下町にあり、近くは和歌山城、名勝和歌浦の海岸美に加え、近年リゾート観光名所として、「和歌山マリーナシティ」ができて、様々な催し物で賑わっています。

紀三井寺境内、本堂正面の新たな仏殿には、平成二十年五月、総高十一メートルを越す、寄木立像としては日本最大の千手観音様（総漆金箔張・松本明慶佛師作）がお祀りされています。

主な年中行事

- 正月三ヶ日 初詣（家内・交通安全、厄除等終日大祈祷厳修）
 - 正月十八日 初観音（午後一時より大般若経転読とお加持があります）
 - 二月三日 節分（午後四時より福つき大豆まき 終日大祈祷会厳修）
 - 旧暦初午日 初午（午後四時より福つき大豆まき 終日大祈祷会厳修）
 - 三月二十日より四月二十日 桜祭り（観光）
 - 四月一日より十三日 十三詣り（十三歳は大人の仲間入り、知恵もらい音声もらい）
 - 八月九日 千日詣（一日詣れば千日の功德・終日祈祷会厳修）
 - 八月十五日 灯籠供養（紀三井寺境内にて午後六時より）
 - 八月二十四日頃 地藏流し（船上にてトバ回向と四国霊場礼拝）
 - 十二月十八日 しまい観音
- *年二回（春五月と秋十一月頃）西国三十三所観音霊場巡拝と年一回（夏八月二十四日地藏盆の頃）四国八十八所弘法大師霊場巡拝を行っております。皆さまと一緒に同行二人の巡礼・遍路の旅にお語り致しますよう！
- *詳しくは、紀三井寺まで（電話）073(444)1002

〒641-0012 和歌山県和歌山市紀三井寺1201

TEL 073-444-1002 <http://www.kimiidera.com/>

納経時間 年間を通じて午前8時～午後5時まで

仏教用語一口解説

菩薩とは

「菩薩」とは、詳しくは「菩提薩埵^{ほだいさつた}」と言い、サンスクリット語で悟りを求める人という意味で、悟りを求め発心して修行をする人を指します。つまり、「如来」になる一歩手前の仏様という事になります。その中で、特に『観世音菩薩』『地藏菩薩』などの仏は、我々の直ぐ傍に何時も在って、衆生の願いを良く汲み取り、救ってあげたいという深い慈悲心から、如来になれる資格が有りながら、あえて菩薩であり続けたいと誓願を立てた仏とされています。

西国三十三所札所会ホームページ <http://www.saikoku33.gr.jp>

西国霊場にご参拝の時は納経帳や白衣を忘れずにご持参ください。2回目以降はご参拝の印として重ねて納経印をいただきますよう。